

安全データシート

作成: 2023年10月 2日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KI109-01
製品名	: ファインセーブフロアブル
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	: 区分4
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(卵巣)* 区分2(下垂体、子宮、腎臓)* *経口経路でのデータに基づく 分類区分である
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	: 区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

- ・飲み込むと有害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(卵巣)の障害
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(下垂体、子宮、腎臓)の障害のおそれ
- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
- ・漏出物を回収すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別:混合物

化学名/一般名:

2-エチル-3,7-ジメチル-6-[4-(トリフルオロメトキシ)フェノキシ]-4-キノリル=メ
チル=カルボナート /一般名:フロメキン

成分及び含有量:フロメキン 10%

<その他> その他(営業秘密につき非公開)

CAS No.: 875775-74-9 / フロメキン

安衛法 8-(1)-3685 / フロメキン

4. 応急措置

吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

多量の水でうがいし、気分が悪い時は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

多量の水および石鹼でよく洗い流す。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受ける。

汚染した衣類は再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：

清浄な水で15分以上注意深く洗眼する。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲込んだ場合：

吐き出させる。

直ぐに医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護：

救助者はゴム手袋等、保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：

特別な解毒剤は知られていない。

症候に基づく標準的対応をする。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：

粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、アルコフォーム、霧状水

使ってはならない消火剤：

冷却の目的で霧状水を用いても良いが、消火に棒状水を用いてはならない。

特有の危険有害性：

火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法：

消火作業は、可能な限り風上から行う。

火災発生場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。

速やかに容器を安全な場所に移す。

移動不可能な場合は、周辺または容器に散水し、冷却する。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼさないよう、適切な措置を行う。

消火を行う者の保護：

消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。

消火作業の際は、状況に応じて適切な保護具(消火服、保護眼鏡、手袋、ゴム長靴、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置：

漏出した場所の周囲にロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。

風上から作業し、風下の人を避難させる。

作業者は状況に応じて適切な保護具を着用し、当該物の直接接触を避ける。

環境に対する注意事項：

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

回収・中和

漏出したものは砂、土、その他の吸収材料を使用して流出を阻止し密閉できる容器に回収する。

封じ込め及び浄化の方法

危険でなければ漏れを止める。汚染された箇所は、布などで拭き取る。

二次災害防止策

おが屑のような可燃物は使用しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

火災、爆発防止などの技術的対策

取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄をおこなうための設備を設置する。

取扱者のばく露防止策

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないようにする。

保護眼鏡、保護手袋などの適切な保護具を着用する。

エアロゾル・粉じんの発生防止策

取り扱う場合には、局所排気内、または全体換気設備のある場所でおこなう。

保管上の注意事項

混触させてはいけない化学物質

塩基性物質、酸性物質

保管条件(適切及び避けるべき条件)

子供の手の届かない場所に保管する。

施錠できる場所に容器を密栓して、冷暗所に保管する。

食品や飼料と同じところに保管しない。

火気、熱源より遠ざける。

容器包装材料

基本的には製品容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度: 設定されていない。

許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標)

ACGIH(2020年): 設定されていない。

日本産業衛生学会(2020年): 設定されていない。

設備対策: できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。取扱い場所の近くに、洗顔及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具: 防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器

手の保護具: 保護手袋

眼及び/又は顔面の保護具: 保護眼鏡(普通めがね型、側板付き普通めがね型、ゴーグル型)

保護面(防災面)

皮膚及び身体の保護具: 保護服、保護長靴、保護前掛け、長袖作業着

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色液体
臭い	: 特になし
pH	: 5.0 - 9.0 (20°C)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 該当せず
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃範囲	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.0 - 1.1 (20°C)
かさ密度	: データなし
溶解度	: 水に不溶。均一に分散する
n-オクタノール/水分配係数(log 値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 特に知られていない。

化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	: 特に知られていない。
避けるべき条件	: 光にあると分解
混触危険物質	: 塩基性物質、酸性物質により加水分解を受ける。
危険有害な分解生成物	: 特に知られていない。
11. 有害性情報	
急性毒性(経口)	: ラット(♀) LD ₅₀ > 300 - ≤ 2,000 mg/kg(区分4)
急性毒性(経皮)	: ラット LD ₅₀ > 2,000 mg/kg(区分に該当しない)
急性毒性(吸入: 粉じん/ミスト)	: ラット LC ₅₀ > 5.618 mg/L(区分に該当しない)
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギを用いた皮膚刺激性試験において刺激性変化が認められないため、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギを用いた眼刺激性試験において結膜に極軽度の刺激性変化が認められたが、24 時間までにすべて消失したことから、区分に該当しないとした。
呼吸器感受性	: 各成分とも情報がないため分類できないとした。
皮膚感受性	: モルモットを用いた皮膚感受性試験(Buehler 法)において、投与量 100%で惹起開始 24 時間後及び 48 時間後に陽性反応が認められないため、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性	: フロメキン原体 復帰突然変異(<i>S. typhimurium</i>)、染色体異常及び小核誘発性が陰性で本製品中の対象成分が区分に該当しないため、区分に該当しないとした。
発がん性	: フロメキン原体 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
生殖毒性	: フロメキン原体 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: フロメキン原体 本製品中の対象成分が分類できないため、分類できないとした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: フロメキン原体の分類に基づき、区分1(卵巣)、区分2(下垂体、子宮、腎臓)とした。
誤えん有害性	: 各成分とも情報がないため分類できないとした。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) :コイ LC₅₀ 520 mg/L (96 時間)

ニジマス LC₅₀ 0.066 mg/L (96 時間)

オオミジンコ EC₅₀ 0.0015 mg/L (48 時間)

藻類 ErC₅₀ 720 mg/L (0-72 時間)

NOECr 98 mg/L (0-72 時間)

ニジマス及び甲殻類に対する急性影響に基づき、区分1とした。

水生環境有害性 長期(慢性) :環境中における本製品の主要成分の消失が極めて速く、生物蓄積性も小さいと考えられるため、区分2とした。

陸上生物急性有害性 :捕食性ダニ LR₅₀ > 500 g a. i. /ha (7 日間)

寄生蜂 LR₅₀ = 86.85 g a. i. /ha (48 時間)

残留性・分解性 :光により急速に分解。

生体蓄積性 :濃縮倍率 1.6~5.4 (フロメキン原体)

土壌中の移動性 :情報なし

オゾン層への有害性 :情報なし

その他 :情報なし

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。

汚染容器および包装:容器を3回洗浄する。その際、環境や水の汚染を避けること。空容器を再利用してはならない。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 :クラス9(有害性物質)容器等級III

国連番号 :3082(環境有害物質、液体)

国内規制

海上規制情報 :船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合はそれぞれの該当法律に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 171(低、中程度の危険性物質)

15. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第24070号 (日本化薬株)
消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 劇物 毒物及び劇物指定令第2条第13の4 フロメトキン
航空法	: 環境有害物質(液体)
船舶安全法	: 環境有害物質(液体)
港則法	: 環境有害物質(液体)
道路法	: 施行令第19条の13(通行制限物質)劇物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
5) 日本化薬株 ファインセーブフロアブル 安全データシート
(2022年8月27日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大阪(年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499
医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時～21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999
医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。